

Git

Gitはファイル管理ツールのひとつ
ファイルの更新履歴をGitで管理することができる



手元にバックアップ用のファイルを
置くことが必要ないのでスツキリ！！

リポジトリ

ファイルやディレクトリの状態を記録する場所

- ・ ローカルリポジトリ

自分用のリポジトリ。自分のマシン上に配置する。

- ・ リモートリポジトリ

複数人で共有するためのリポジトリ。

サーバー

リモート
リポジトリ

A君

ローカル
リポジトリ

変更履歴の更新と読み込み

B君

ローカル
リポジトリ

チームでの開発がスムーズになる

ファイルなどの履歴の更新の仕方が少し特殊

- 1 作業ファイル群(ワークツリー)から内容を変更するファイルをインデックスに追加する
- 2 インデックスをリポジトリに登録する
(ここで変更履歴の更新がされる)

*インデックスはファイルを変更したけどまだ保存していない状態。保存したいものを指定する。

add

内容を変更するファイルをインデックスに追加する

commit

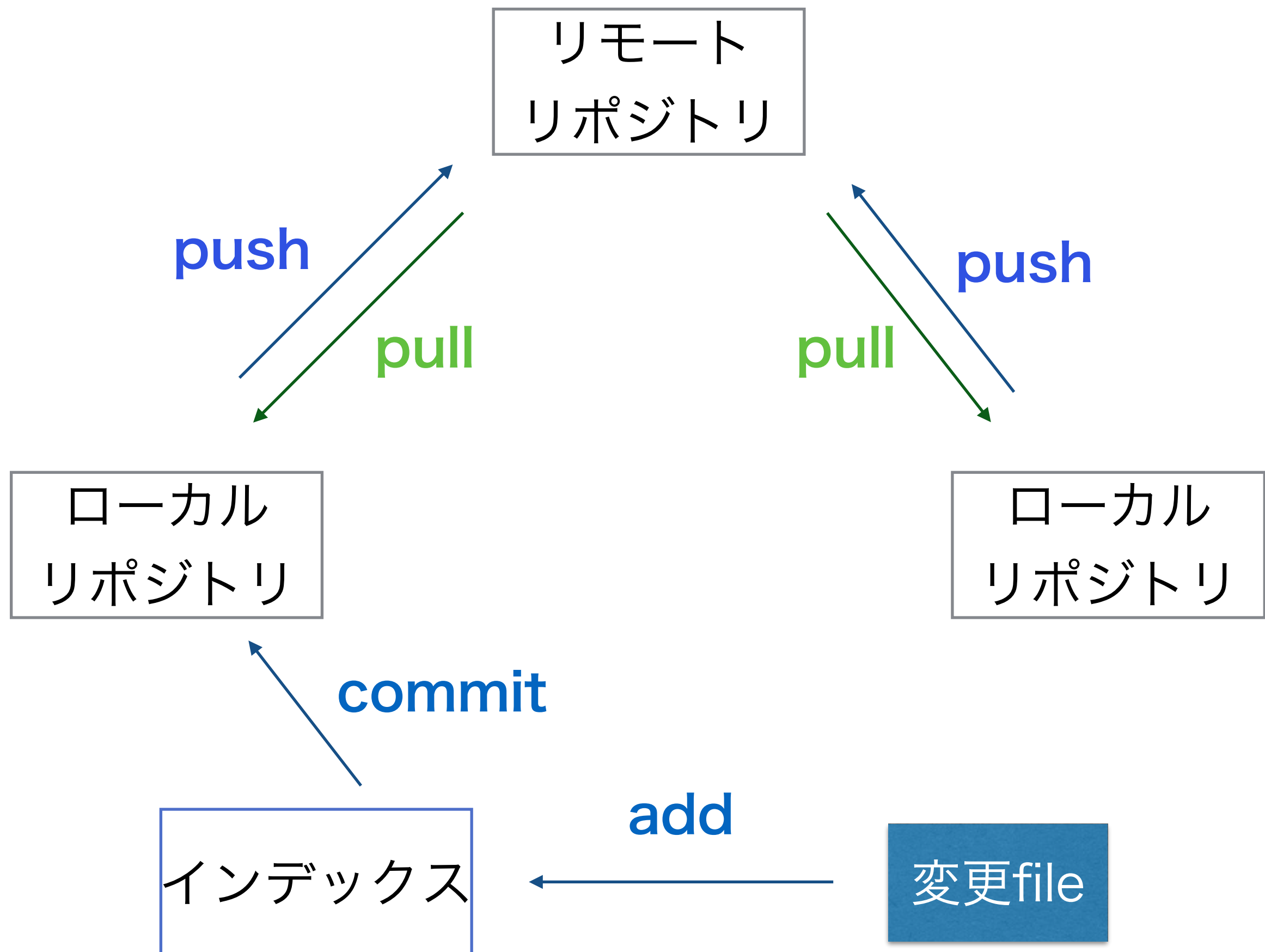
インデックスをリポジトリ(ローカル)に登録する

push

自分のローカルリポジトリをリモートリポジトリにアップロードする

pull

リモートリポジトリが更新されていたら自分のローカルリポジトリにその更新を反映させる



clone

リモートリポジトリを丸々コピーして自分のマシンにローカルリポジトリとして作成される

リポジトリは自分で作成するか、
この**clone**を行うことによって作成する

Github

リモートリポジトリを提供しているWebサービス

`push`したものは世界中の人が見れる

それぞれのリポジトリにはURLが設定してあって
そのURLを使って`clone`する

具体例

リモートリポジトリ : bio-z-material

編集するファイル : Git講習.pdf

1. bio-z-materialをcloneしてローカルに複製する
2. Git講習.pdfをaddしてcommitする
3. Git講習.pdfをリモートリポジトリにpushする

ローカルを作成したいディレクトリ

GitHub kisuke\$ **git clone** (リポジトリのURL)

Desktop kisuke\$ **cd ../GitHub/bio-z-material/**

bio-z-material kisuke\$ **ls**

Git講習.pdf README.md

編集したファイル名

bio-z-material kisuke\$ **git add "Git講習.pdf"**

編集内容などのコメント。これがないとエラーがでる

bio-z-material kisuke\$ **git commit -m "Git講習デモ"**

[master b7734c5] Git講習デモ

1 file changed, 0 insertions(+), 0 deletions(-)

create mode 100644 "Git

\350\254\233\347\277\222.pdf"

知りたい人用

push = アップロード

origin = リモートのサーバ名

(めんどくさいからoriginってニックネーム)

master = デフォルトのブランチ名

pushの呪文



```
bio-z-material kisuke$ git push origin master
```

```
Username for 'https://github.com': kisukeeee
```

```
Password for 'https://kisukeeee@github.com':
```

```
.....
```

自分のGithubのユーザー名とパスワード

```
To https://github.com/himetani/bio-z-material.git
```

```
2236fe7..b7734c5  master ->
```

GitHubを登録するための参考サイト

【git入門】 GitHubを利用する

<http://albatrus.com/main/web/6165>

Gitをもっと知りたいひとむけ参考サイト

Git初心者が見るべきサイトまとめ

<http://matome.naver.jp/odai/2136491451473222801>